



和歌山県知事 仁坂吉伸

祝 辞

ライオンズクラブ国際協会３３５－Ｂ地区第６８回年次大会が、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

ライオンズクラブは、世界に１４０万人を超える会員を擁し、創設から１００年余りの間、世界中の主要な地域において、常に品位と品格をもって奉仕活動を続けられています。

ライオンズクラブ国際協会３３５－Ｂ地区におかれましては、大阪及び和歌山において確固たる基盤を築かれ、ライフジャケットの寄贈や東日本大震災、熊本地震といった災害の被災者への支援など、様々な奉仕活動を展開することにより地域社会に貢献されてきました。

一昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大により、活動に大きな影響を受ける中にあっても、皆様は、友ヶ島における清掃奉仕活動や新たな献血会場の発掘など、奉仕の理念に基づいた献身的な活動を継続されています。そして、現在、「ＫＡＩＺＥＮ～未来を拓く～」を地区ガバナーズローガンとして掲げ、地区運営を刷新することにより、会員の確保を図るとともに、視力保護、食糧危機、環境保全、糖尿病又は小児がんに関する課題を解決するための活動を更に充実させようとされています。困難な状況においても諦めず、熱心に活動されていることに対し、深く敬意を表します。

県では、県民一人一人が、故郷に愛着と誇りをもち、元気に活躍することができる和歌山の実現を目指し、保健医療行政を中心とした徹底した感染症対策はもちろんのこと、ポストコロナ時代に挑み、和歌山を大きく飛躍させるための取組にも全力を尽くしてまいります。

県といたしましては、本県の更なる発展には、これまで地域において活動されてきた皆様の御尽力が必要不可欠であると考えておりますので、今後も活動を継続していただきますとともに、本県の県政の推進により一層の御支援と御協力いただきますようお願い申し上げます。

また、本大会に参加されている皆様におかれましては、お互いの交流を深められ、本大会の参加を契機としてより一層団結されることを願っています。

結びに、会員の皆様の御健勝と御多幸並びにライオンズクラブ国際協会３３５－Ｂ地区のますますの御発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。